



## 世田谷記念病院入院患者様へ

当施設では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお知らせください。

研究課題 (研究番号)	廃用症候群および整形外科疾患に起因する嚥下障害における通常食移行への要因検討 (No.)→2021_01
当施設の研究責任者 氏名(所属)	粟田麻友 (世田谷記念病院 栄養部)
他の研究機関および各 施設の共同研究責任者	東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 教授 小西 敏郎 東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 教授 小城 明子 世田谷記念病院 在宅診療部長 佐方 信夫
本研究の目的	廃用症候群および整形外科疾患患者のうち、入院時に嚥下調整食または非経口栄養法による栄養摂取を行っている者において、通常食への移行の可否と栄養摂取状況、栄養状態、身体的特徴との関連を解析し、通常食移行への影響を及ぼす因子を検討する。
調査データ 該当期間	2021年12月1日入院～2022年10月31日退院
研究方法 (使用する資料等)	<ul style="list-style-type: none"><li>対象となる患者さま<ul style="list-style-type: none"><li>①年齢:不問</li><li>②性別:不問</li><li>③病棟:全病棟</li><li>④入院疾患名:廃用症候群または整形外科疾患</li><li>⑤入院時に嚥下調整食摂取または非経口栄養法</li><li>⑥対象時期:2021年12月1日入院～2022年10月31日退院</li></ul></li><li>利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用する</li></ul>
試料/情報の他の研究機 関への提供および提供 方法	研究責任者の粟田麻友の修士論文として使用する。
個人情報の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"><li>データは個人を特定できないよう匿名化した形で収集する。データの収集にはネットワークから切り離された限定されたPCを使用する。</li><li>データはパスワードで管理されたUSBにて、研究責任者のみが使用可能な世田谷記念病院栄養部の鍵のかかった機の引き出しにて厳重に保管する。</li><li>データは、研究成果発表後10年間保管し、その後、データ完全削除ソフトまたは物理的な破壊により情報が外部に流出しないよう対処する。PCのセキュリティソフトは、最新版に更新しておく。</li><li>研究成果を発表する際は個人を特定できる形では発表しない。</li></ul>
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。